

## 「日本とアフガニスタンの平和」

ハシン・カリム

みなさん、こんにちは。私はハシン・カリムと申します。2年前の4月にサッカーの留学生としてアフガニスタンから参りました。今日は日本とアフガニスタンの平和についてお話ししたいと思います。

私はアフガニスタンの首都カブールで生まれました。みなさんはアフガニスタンはどんな国だと思いますか？戦争をしていて危ない国だと思いませんか？確かに7年前、夜中に私の家の近くで大きな爆発がありました。テロでした。私の家の窓ガラスが全部割れて、母といとこがケガをしました。そのとき私はとても怖くて死ぬかと思いました。40年ぐらい前、アフガニスタンは戦争をしていました。そして今も多くのテロが起きています。でもアフガニスタンの国の約70パーセントのエリアでは、人々は平和に暮らしています。私たちアフガニスタン人はみんな、戦争をやめてほしいと心から思っています。

先月、高校の修学旅行で広島・大阪・京都・奈良へ行って来ました。広島で平和記念資料館と原爆ドームを見学したときは、とてもショックを受けました。アフガニスタンの学校で勉強していたので、1945年に広島と長崎で原爆が落とされたことは知っていました。でもそのときはあまり日本に興味がなくて、原爆の恐さもよくわかっていませんでした。2年前に日本へ来てからずっと私は、日本は平和な国だと思っていました。でも平和記念資料館でたくさんの悲惨な写真、黒く焼けたお弁当箱や髪の毛や子供の三輪車などを見て、原爆の恐さを知り、悲しくて涙が止まりませんでした。ボロボロに焼けた中学生の制服のポケットについていた時間割を見たとき、その中学生はこれからもっと勉強したかっただろう、もっといろいろなことをしたかったらと思うました。それなのに、一瞬でその中学生の未来がなくなってしまったことに、心が痛くて苦しくてたまりませんでした。

平和だと思っていた日本にこんな悲しい戦争の歴史があったことを初めて強く理解しました。そしてこの時、アフガニスタンのことが頭に浮かびました。日本人は戦争が終わってから今まで70年以上、ずっと平和を願って来ました。アフガニスタン人も戦争はしなくないし、平和を強く願っています。ですから、日本人はきっとアフガニスタン人の気持ちがわかると思いました。日本人もアフガニスタン人も平和を願う気持ちは同じなのです。

私は日本でサッカーの技術を学んで、将来アフガニスタンの代表に入りたいと思っています。そしてアジア大会で優勝したいです。優勝することでアフガニスタンの人々に幸せな気持ちになってもらいたいからです。ですから、そのために一生懸命がんばります。

今は安全の問題で外国人がアフガニスタンへ旅行することは難しいかもしれませんが、いつか私の国へ安心して来てもらえる日が来ることを、心から祈っています。

ありがとうございました。